

平成22年2月21日(日)
西九州大学子ども研究ネットワーク(NCN)
第1回研究大会が開催されました。

午後の研究発表では、西九州大学大学院健康福祉学研究科臨床心理コース、西九州大学健康福祉学部社会福祉学科から、子どもに関連する研究発表をいただきました。

子育ての変遷解説



広田日大教授が講演

西九大
研究会

佐賀市

西九州大 学(福元裕
学)子ども研究ネット
ワーク」の第1回研究大
会が21日、佐賀市神園の

「子どもの育ちを考
える」と題して講演する
広田照幸日本大学教授
西九州大学神園キャン
パス

同大学神園キャンパスで
開かれた。基調講演で広
田照幸日本大学教授が
「子どもの育ちを考える」
と題して講演したほか、
同ネットワークの取り組
み紹介や研究発表で、子
育ての在り方について考
えた。

広田教授は子育ての変
遷をたどり、「昭和前半
まで多くの子どもが死ぬ
など、問題だらけだった
中で、母親に責任を負わ
せる形で子育ての質を上
げてきた。しかし、19
80年代から子育ての社
会化が進み始め、社会全
体で子育てを支える考え
方になった」と解説した。
今後については、質の
高い子育てを誰が、どう
担うかなどの課題がある
ことを挙げ、「社会のある
べき方向を考え、必要な
ものは要求していくこと
が重要だ」と提起した。
午後からは取り組み紹

介や学生の研究発表があ
り、学生や市民ら約10
0人が熱心に聞き入って
いた。(福井)